

ATOMU-701 取扱説明書



禁止

下記の禁止事項を無視して誤った使用をした場合、ケガや事故が発生する可能性があります。必ずお守りください。



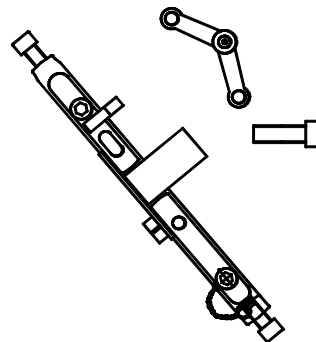
事前検討せずにATOMUを使用しない



ATOMU-701は、ワイヤーを使用しない工法で、ATOMU本体にて柱の転倒防止を行います。この為、地震・風による影響を考慮した荷重検討が必要です。



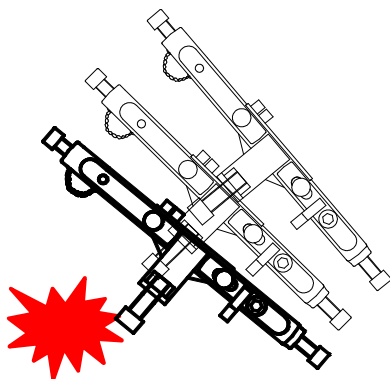
装置および専用工具の分解・改造をしない



動作不良などにより、使用時に思わぬケガをする恐れがあります。また、性能や耐力が失われ、柱の転倒防止に影響する可能性があります。



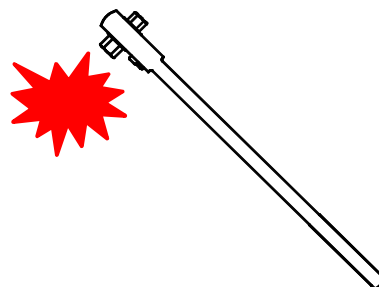
装置および専用工具を投げたり落とさない



各部が損傷し、動作不良などにより、使用時に思わぬケガをする恐れがあります。



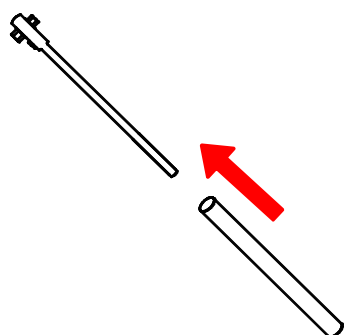
専用工具で叩かない



専用工具が損傷し、動作不良などにより、使用時に思わぬケガをする恐れがあります。



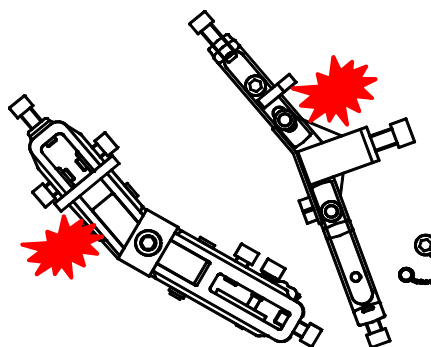
専用工具にパイプを継ぎ足して無理にATOMUを操作しない



オーバーロードにより、故障の原因になります。



不具合のある装置・専用工具を使用しない

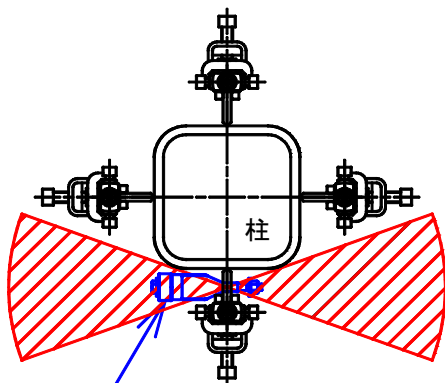


装置(ATOMU・目違い調整治具)および専用工具に著しい傷や歪みが見られた場合には、すぐに使用を中止し、交換してください。

下記の禁止事項を無視して誤った使用をした場合、ケガや事故が発生する可能性があります。必ずお守りください。



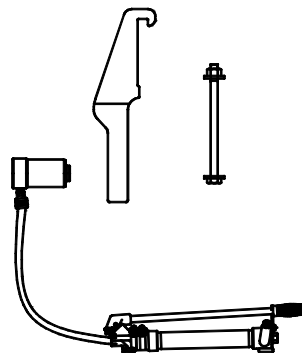
目違い調整治具を使用する際は、
下図の斜線部周辺は立入禁止



目違い調整治具



点検をせずに目違い調整治具を
使用しない



目違い調整治具

年月日～年月日

港製器工業株式会社
大坂本社
東京事業所

作業開始前に、必ずチェックリストに基づいた点検を実施してください。

下記の注意事項を無視して誤った使用をした場合、ATOMUの損傷や、性能が十分に得られない可能性があります。



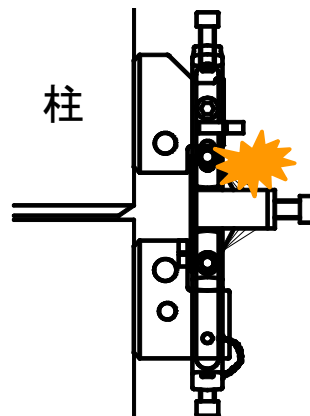
建方前にATOMU検討書の
建方条件を確認



大梁架設時の仮ボルト条件、特記事項などを確認してください。検討書の条件を無視した場合、ATOMUの許容応力を超える恐れがあります。



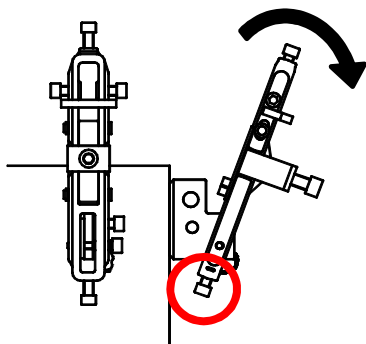
ATOMUの可動部に触れない



パンタ部分で指などを挟まないように、ご注意ください。



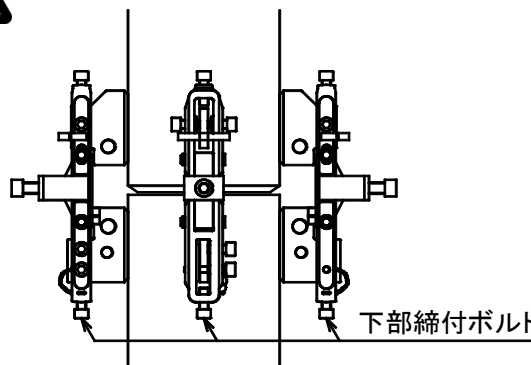
柱の待ち受けをする時、
下部締付ボルトを緩める



下部締付ボルトが緩んでいない場合、ATOMUが十分に倒れず、柱の受け取りが困難になります。



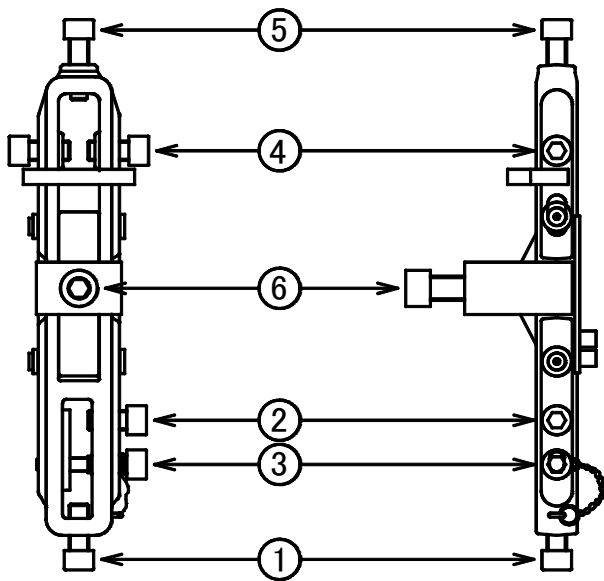
建て入れ調整をする前に、
下部締付ボルトの締め忘れ確認



下部締付ボルトが緩んだ状態では、柱倒れ調整が十分に行えません。また、ATOMUが柱から外れる恐れがあります。

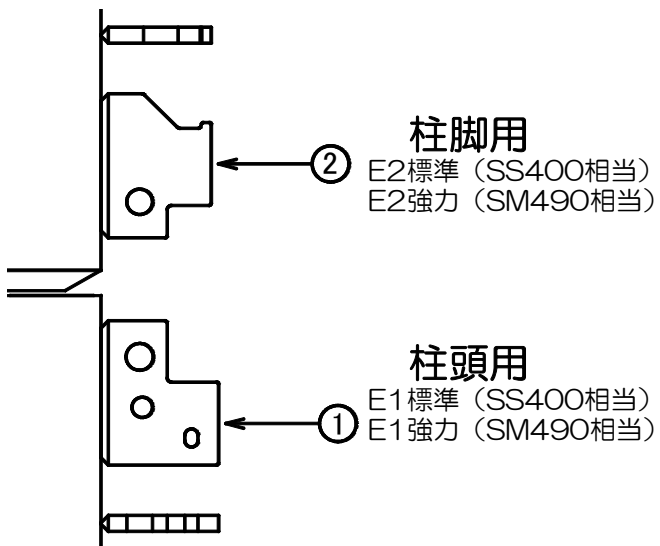
各部の名称

■ ATOMU-701



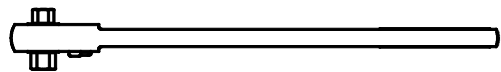
- ① 下部締付ボルト
- ② 柱頭締付ボルト
- ③ 貫通ボルト
- ④ 目違い調整ボルト
- ⑤ 上部締付ボルト
- ⑥ 建入調整ボルト

■ エレクションピース

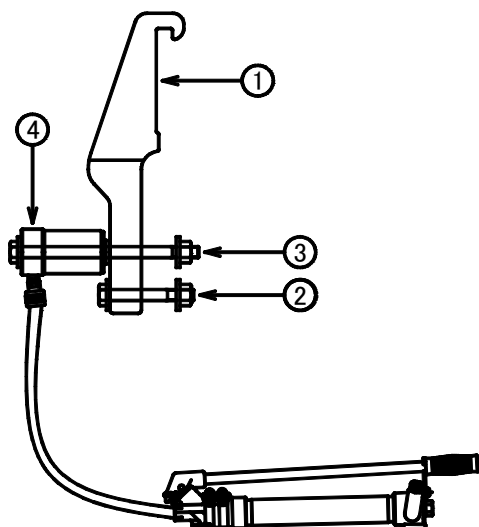


■ ATOMU用工具

※ATOMU-BASEにも使用できますが、延長ロッドの取付はできません。



■ 目違い調整治具



- ① 目違い調整板
- ② 固定ボルト (M18x150)
- ③ 固定ボルト (M18x290)
- ④ 油圧ジャッキポンプ

建方の流れ

ページ

P6

ATOMUの取付（柱の待ち受け）



P7

柱の受け入れ（柱を仮固定）

柱荷重5t未満はクレーン解放可能



P8

目違い調整（柱単独での調整）

クレーン解放



P9

建て入れ調整（柱単独での調整）



梁入れ



再計測



P9

歪み直し
※必要な場合のみ



梁継手および柱継手の本締め、溶接



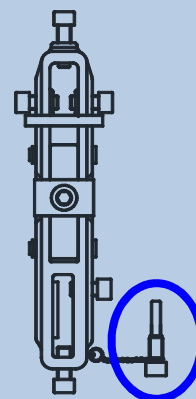
ATOMUの取外し

P10

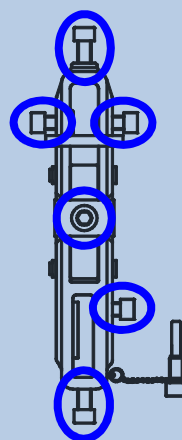
【オプション】 目違い調整治具（強力な目違い修正）

ATOMUの取付（柱の待ち受け）

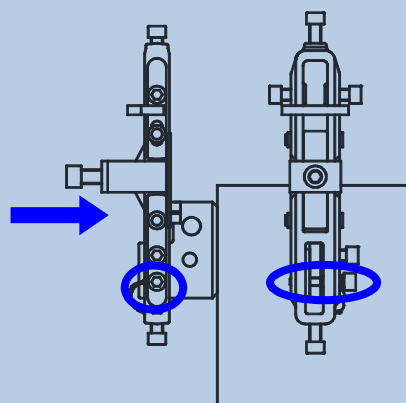
1 貫通ボルトを外す



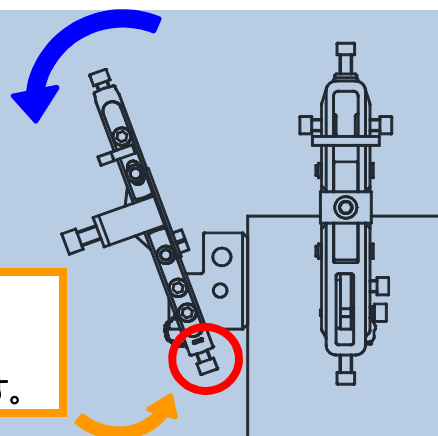
2 各ボルトをATOMU本体枠内に
先端が出ない程度まで緩める



3 ATOMUを既設柱頭の
エレクションピースに差し込み、
貫通ボルトを差し込む



4 ATOMUを外側に倒し
待ち受け状態にする

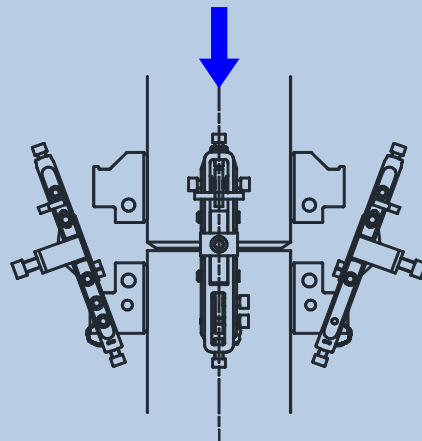


注意

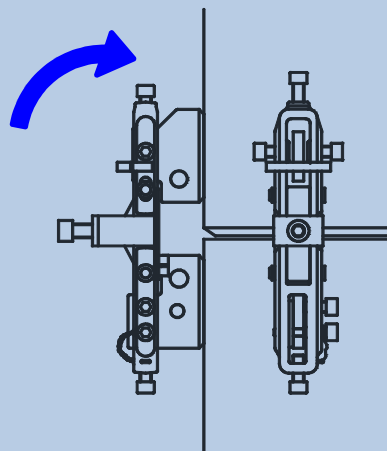
下部締付ボルトが十分に緩んでいない場合、
ATOMUが倒せず、上節柱の受入が困難になります。

柱の受け入れ（柱を仮固定）

- 1 上節柱を上下エレクションピースの縦ラインを合わせながら降ろす

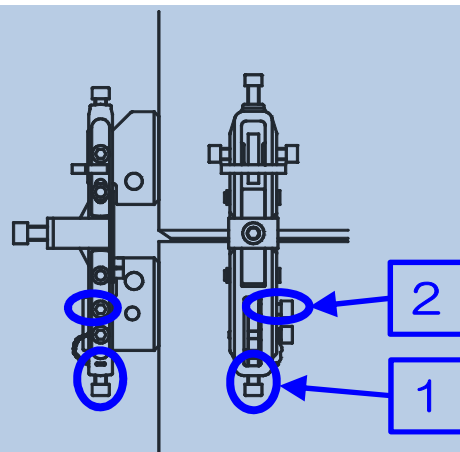


- 2 ATOMUを起こし上節柱にはめ込む

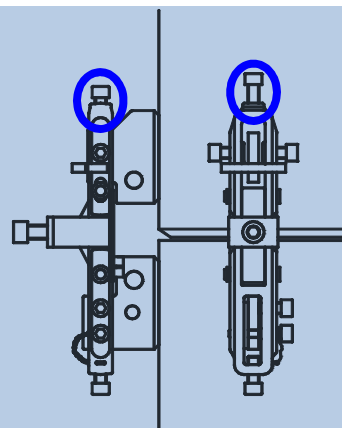


- 3 下記の順にボルトを手締め、
専用工具にて締付ける

- 1 下部締付ボルト
- 2 柱頭締付ボルト



- 4 上部締付ボルトを手締めする



注意

柱重量5t未満：クレーン解放可能
柱重量5t以上：既設柱に5t預け、クレーン解放しない
※柱荷重を既設柱に預けた後、上部締付ボルトが
緩む可能性があります。再確認してください。

目違い調整

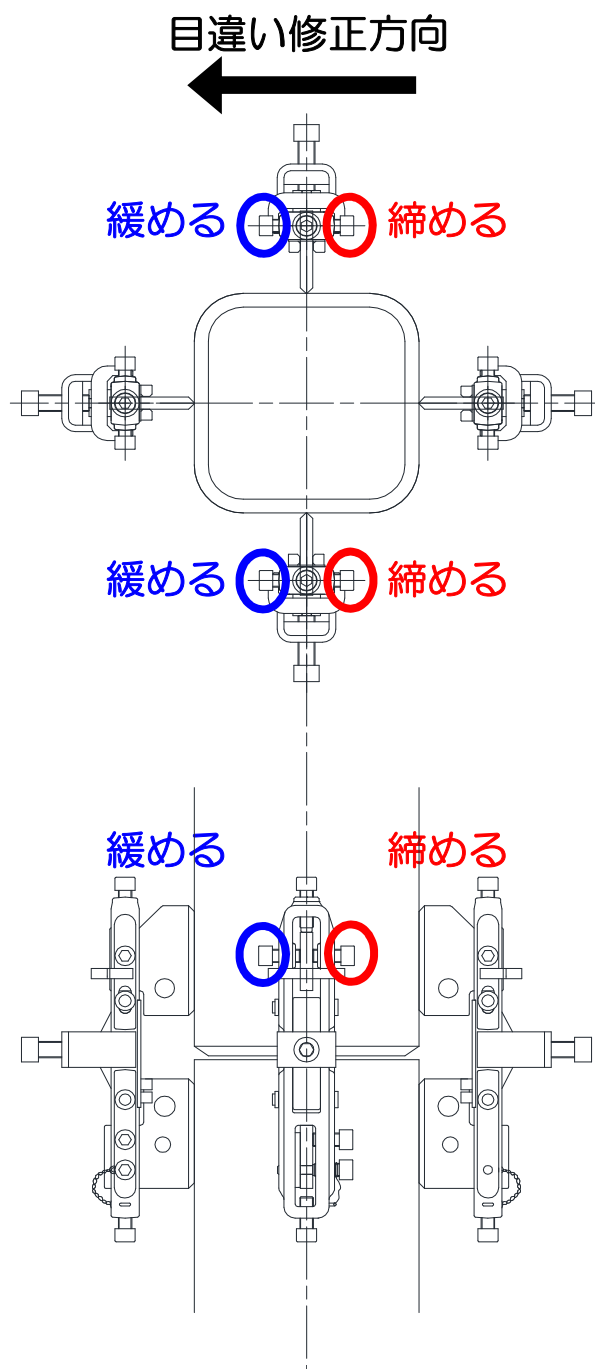
1 青印箇所を目違い調整ボルトを緩める

2 赤印箇所を目違い調整ボルトを専用工具で締付ける



注意

目違い調整ボルトを専用工具で締付ける前に、反対の目違い調整ボルトが緩んでいる事を確認してください。ATOMUに無理な力が加わり、装置が損傷する恐れがあります。



建て入れ調整，歪み直し

1 建入調整ボルトを緩める (引張側のATOMU)

2 上部締付ボルトを締める (引張側のATOMU)

3 上部締付ボルトを緩める (押上側のATOMU)

4 建入調整ボルトを締める (押上側のATOMU)

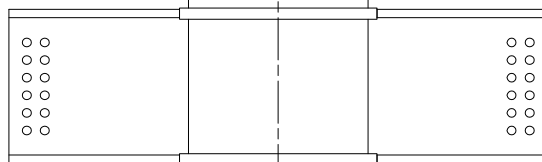
※ 歪み直し時には、隣接する柱も同様の作業を行ってください。



注意

建て入れ調整終了後、ATOMUの各ボルトを専用工具にて増し締めしてください。(柱の固定)

建て入れ調整方向



引張側



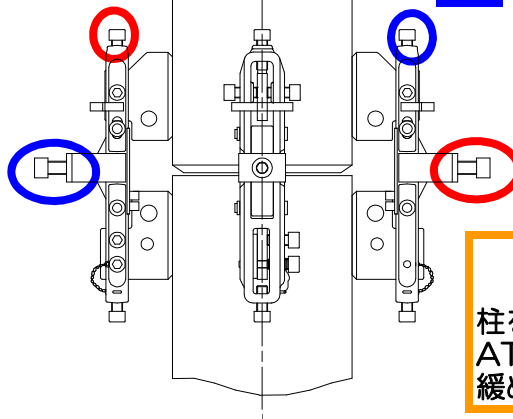
押上側

2 締める

3 緩める

1 緩める

4 締める



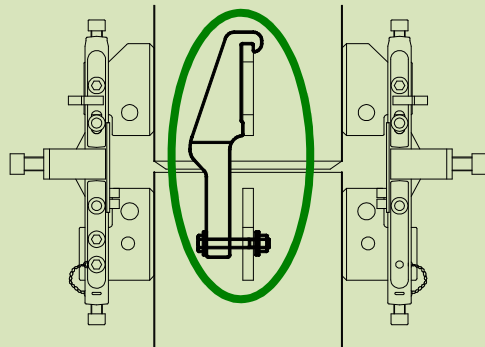
注意

柱を倒し過ぎた場合、押上げ側のATOMUの建入調整ボルトを緩めてください。

目違い調整治具（強力な目違い修正）

1

板を固定ボルト (M18x150) で
セットする



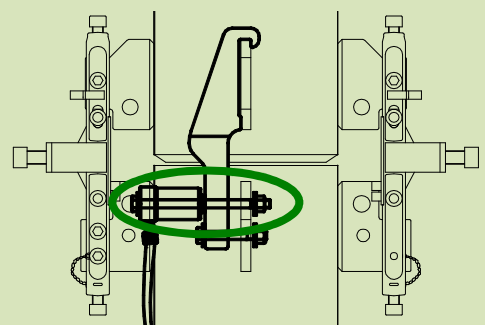
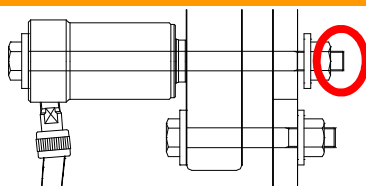
2

油圧ジャッキポンプを
固定ボルト (M18x290) でセットする



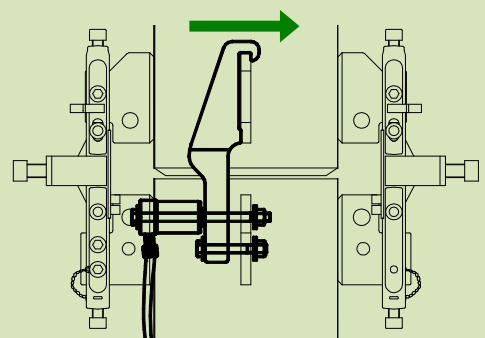
注意

ネジ山を3山以上ナット
から出してください。



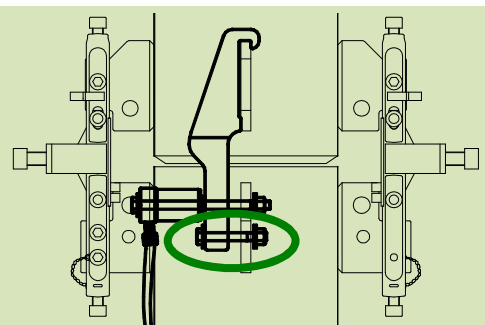
3

油圧ジャッキポンプを操作し
柱の目違いを修正する

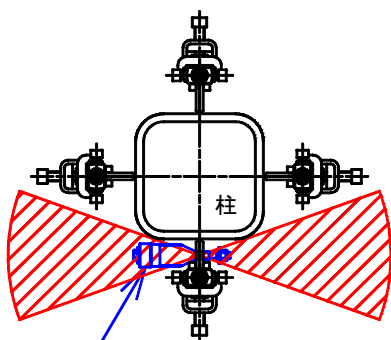


4

柱が戻らないように
固定ボルトM18x150で固定する



 禁止



目違い調整治具

目違い調整治具を使用する際は、
左図の斜線部周辺は立入禁止！

ATOMU-701用目違い調整治具 作業開始前点検 チェックリスト

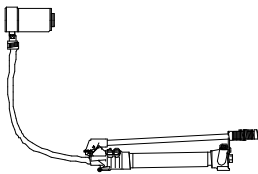
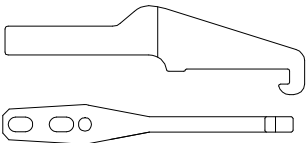
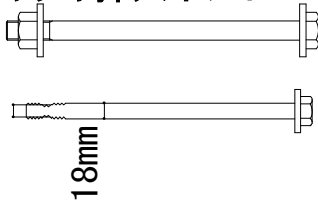
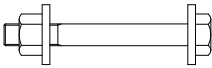
施 工 会 社 :

工 事 名 称 :

点検日 : 年 年 日 () ~ 年 年 日 ()

点検者 : 所属会社:

氏 名:

点検結果	項 目	日	日	日	日	日	日
油圧ジャッキ 	1. 変形、キズは無い						
	2. 各部油もれは無い						
	3. スムーズに伸ばし、戻しができる						
	4. その他異常は無い						
目違い調整治具 	1. 全体の変形、キズは無い						
	2. フック部の変形、割れは無い						
	3. 孔まわりに割れ、キズは無い						
	4. その他異常は無い						
ジャッキ挿入ボルト 	1. 変形、キズは無い						
	2. 曲がりは無い						
	3. ねじ部が伸びて断面が小さく なっていないか直径17mm以上あるか						
	4. その他異常は無い						
固定ボルト  (ワイヤーでも可)	1. 変形、キズは無い						
	2. 曲がりは無い						
	3. ねじ部が伸びて断面が小さく なっていないか						
	4. その他異常は無い						

異常があった場合は使用を控え、工事担当者及び下記のメーカー担当者に連絡願います。

港製器工業株式会社 大阪本社 072-677-5743

港製器工業株式会社 東京事業所 03-6435-9501



【本社】

〒569-8588 大阪府高槻市唐崎中3-20-7
TEL:072-677-5743 FAX:072-677-3593

【東京事務所】

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル7階
TEL:03-6435-9501 FAX:03-6435-9502

【中京事務所】

〒503-0322 岐阜県海津市平田町土倉121番
TEL:0584-66-5910 FAX:0584-66-5911
